

訓練場面	交 信 場 面		場 面 状 況
	担 任 の 発 信	Y 女 の 受 信	
	※この間、テレビ視聴、折り紙、ひも通しなど。  ○くつをはきなさい。  ○あし、くつ  ○できました。おりこうさん。	…ア－ア－（テレビを指差し） …ア－ア－（折り紙の要求） …四つばいでくつに近づく。 ア－ア－、両足を出す。ウ、ウ、指差しして声を出す。  …ほほ笑んで拍手をする。	◎ア－ア－という音声を有意語としてとらえてやる。 ◎要求を確認して与える。 ※作業に熱中するとうなり声をあげる。  ◎片方ずつ、あし、くつの言語をそえ介助してやる。 ◎くつの名前を音節打ちする。指と発声のできるようだ。 ◎頭をなで、拍手をおくり言語賞賛をする。
③下校の時、昇降口からバス乗車まで	○バスに乗って帰るよ。 ○手を差し出す。  ○ゆ、か、り、  ○くつを持って。  ○すわりなさい。  ○くつを置きなさい。 ○くつを脱ぎなさい。（上ばき） ○くつ、あし、  ○くつをはきなさい。   ○くつ、あし ○くつを持ちなさい。  ○たちなさい。「起立！」 ○ゆ、か、り ○よくできましたおりこうさん。	…手をつないで廊下を歩く。 …指差しして音節を打つ。 …くつ箱から外ばきをとる。 …くつを持って腰をおろす。 …くつを置く。 …両足を出す。  …くつ、あしを指差す。  …くつをはく。   …くつ、あしを指差す。 …くつを持つ。  …くつを持って立つ。  …三音節打つ。 …笑顔でうなづき拍手をする。	◎昇降口へ向かう。帰ることを意識してか笑顔である。 ◎手をとってくつ箱の名前を音節打ちさせる。 ◎背後から手をとってやり、くつを持たせる。 ◎背後から体を支えてやりすわらせる。  ◎置く場所を体の右側におかせる。 ◎片方ずつ脱いでやる。（かかと部分に手をもっていかせる） ◎手をとって、くつ、あし、の音節を打たせる。 ◎片方ずつはかせる。くつを持たせる。つま先にくつをひっかけさせる。くつのかかと部分に指を入れてかかと部分をまわすようにして、底部を押し上げてやる。  ◎くつをそろえておき、片手でくつの中央部を持たせる。 ◎背後から体を引き上げる。  ◎手をとって打たせる。 ◎バイバイをしてバスに乗る。（ステップまで介助）

訓練は一日最低三回の訓練場面を設定し、課題達成まで次の三段階のステップを踏んで指導した。

① 全介助による訓練（4月～6月）

言語促進と動作の介助などで特に留意した点は、毎回同一語を使い、ことばと物との対応を確実に